

糸魚川真柏保存活用計画の策定について

1 背景と目的

当地域の特徴的な観光資源である糸魚川真柏は、乱獲や愛好家の高齢化、後継者不足等により消滅の危機に面している。優れた葉性から「盆栽の王」と呼ばれ、海外でも人気が高い糸魚川真柏を守り未来へ伝えとともに、持続可能な活用を図ることによって、交流人口・関係人口の拡大による地域振興を促進するため、本計画を策定した。

2 計画の概要

(1) 策定体制

有識者や観光事業者、盆栽関係者など8者による糸魚川真柏保存活用計画策定委員会を組織し、令和7年度内に3回の審議を行った。

No	役 職	所属・役職等	分 野	氏 名
1	委 員 長	東海大学／教授	観 光	本田 量久
2	副委員長	糸魚川盆栽会／会長	盆 栽	後藤 高根
3	委 員	上越教育大学／教授	植 物	五百川 裕
4	委 員	さいたま市大宮盆栽美術館／技師	盆 栽	中村 慎太
5	委 員	環境省妙高高原自然保護事務所／自然保護官	環 境	秋本 周
6	委 員	糸魚川盆栽会／事務局長	盆 栽	山田 博信
7	委 員	小滝地区自治振興協議会／会長	住 民	伊藤 信正
8	委 員	(一社)糸魚川市観光協会／事務局長	観 光	齊藤 清一

(2) 目指す将来像

みどり

翠の大地が育む「自然の美」100年先も糸魚川真柏を誇り、伝え、生かすまち

(3) 計画期間

令和8年4月1日 から 令和18年3月31日 まで（10年間）

(4) 施策の3本柱

No	項 目	主な内容
1	保 存	自生地保護、名木の市外流失防止、展示施設の整備
2	活 用	情報発信の強化、交流施設の整備、販売促進、素材の確保 ブランド力向上、ファンの獲得、シンボル化
3	継 承	盆栽文化の継承、若い世代へのPR、後継者の育成

(5) 実施体制

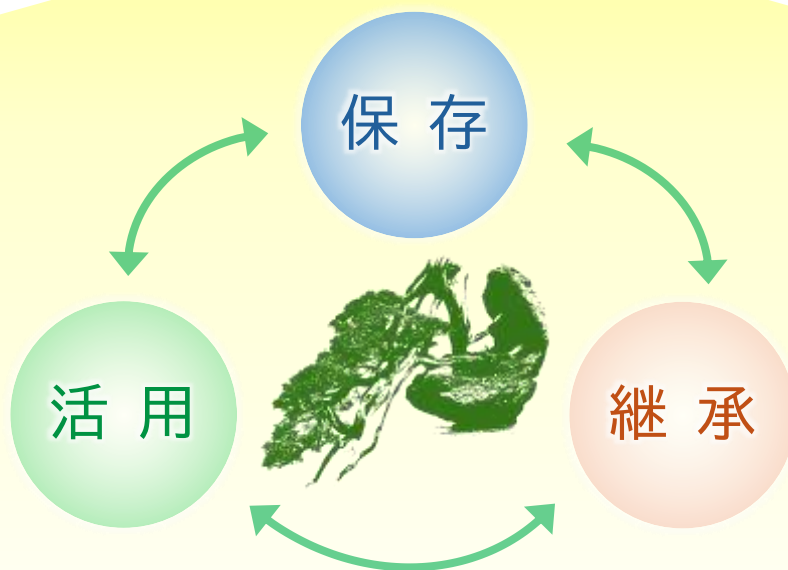
- ・実施計画（アクションプラン）を策定して、各種事業を推進する。
- ・策定委員には「オブザーバー」として、引き続き助言等の支援をお願いする。

みどり

翠の大地が育む「自然の美」

100年先も糸魚川真柏を誇り、伝え、生かすまち

重点項目



活動方針



- 後継者の育成
- 盆栽文化の継承
- 情報発信の強化
- ブランド化の推進
- 魅力の磨き上げ
- 関連商品の造成
- 名木の保存と展示
- 市外への流失防止
- 自生地回復

利害関係者（ステークホルダー）



市民 行政 教育 園芸 環境 産業 観光

